

第19章 サプライ用品、オプション機構、および保守

サプライ用品	311	自動給紙機構用紙パス	319
連続用紙およびカット・シート用紙の仕様	311	オプション機構	320
後部プッシュ用紙パスの推奨事項	314	保守	320
用紙スタッキングの推奨事項	315	リボン・カートリッジの取り外し	320
用紙スタックの入力および出力の位置	315	リボン・カートリッジの取り付け	322
前部プッシュ用紙パス	316	プリンターのクリーニング	325
後部プッシュ用紙パス	317	プリンター内部のクリーニング	325
複式プッシュ用紙パス	318	カバーのクリーニング	326
後部プッシュまたはプッシュ/プル用紙パス	319		

サプライ用品

プリンターに必要なサプライ用品は、リボン・カートリッジと用紙だけです。

交換のリボン・カートリッジを発注する際には、IBM パーツ番号 **1053685** を指定します。リボンの発注は、IBM 営業担当員にご用命ください。

連続用紙およびカット・シート用紙の仕様

4247 プリンターは、連続用紙およびカット・シート用紙を使って稼動します。すべての用紙は、使用する前に、用紙の取り扱い、印刷位置合わせ、および印刷品質の受け入れ可能性についてプリンターの機能環境で評価する必要があります。用紙は、次の仕様に適合している必要があります。

注: オプションの自動給紙機構を追加すれば、個々のカット・シート用紙、ゼログラフィック用紙、および封筒に印刷することができます。用紙については、4247 *Printer Automatic Sheet Feeder Guide* を参照してください。

用紙の基準	特性	用紙パス		
		連続用紙		カット紙
		前部プッシュ、後部プル、プッシュ/プル	後部プッシュ	手動給紙
寸法	幅	76.2 ~ 431.8 mm 3 ~ 17 インチ	76.2 ~ 431.8 mm 3 ~ 17 インチ	114.3 ~ 444.5 mm 4.5 ~ 17.5 インチ (注 8)
	長さ	76.2 ~ 609.6 mm 3 ~ 24 インチ	76.2 ~ 609.6 mm 3 ~ 24 インチ	101.6 ~ 609.6 mm 4 ~ 24 インチ (注 8)
1 パーツ (コピーなし)	重量	55 ~ 150 g/m ²	55 ~ 80 g/m ²	50 ~ 120 g/m ²
	厚さ (最小)	0.08 mm 0.003 インチ	0.08 mm 0.003 インチ	0.08 mm 0.003 インチ

用紙の基準	特性	用紙パス		
		連続用紙		カット紙
		前部プッシュ、後部プル、プッシュ/プル	後部プッシュ	手動給紙
複数パーツ (複数コピー)	最大パーツ (オリジナル + コピー)	8	4	8
	全体の厚み	0.08 ~ 0.635 mm	0.08 ~ 0.35 mm	0.08 ~ 0.635 mm
		0.003 ~ 0.025 インチ	0.003 ~ 0.014 インチ	0.003 ~ 0.025 インチ
	トップ・パーツ (オリジナル) の重量	55 ~ 150 g/m ²	55 ~ 80 g/m ²	55 ~ 150 g/m ²
	付加用紙の個々の重量	45 ~ 75 g/m ²	45 ~ 75 g/m ²	45 ~ 75 g/m ²
カーボン紙の個々の重量	14 ~ 35 g/m ²	14 ~ 35 g/m ²	14 ~ 35 g/m ²	
用紙パスが参照する注		1、2、3、5、6	1、2、3、4	7、8、9

用紙の基準	特性	用紙パス		
		連続用紙		カット紙
		前部プッシュ、後部プル、プッシュ/プル	後部プッシュ	手動給紙

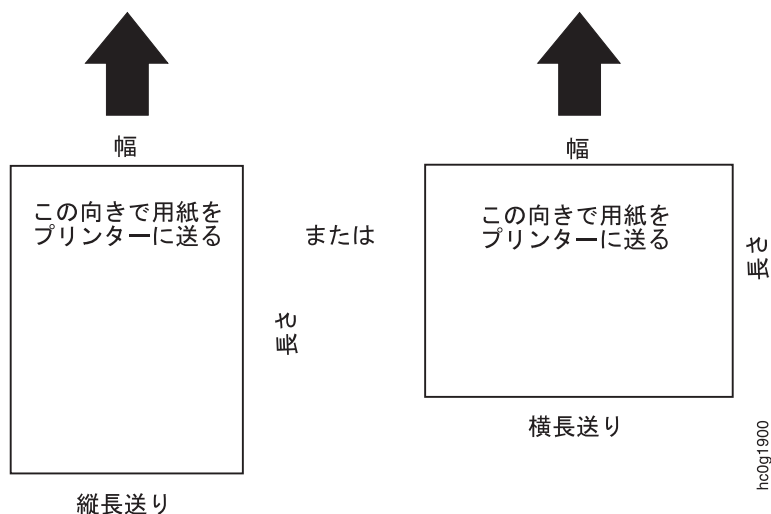
注:

連続用紙

1. 長さまたは幅が 152.4 mm (6 インチ) より小さい場合は、スタックが正常に行われるかテストしてください。このような用紙は、オペレーターの特別な注意が必要な場合があります。
2. 最適なパフォーマンスを得るためには、印刷位置は用紙の四辺、穴、または折り目から 6.4 mm (0.25 インチ) までに制限する必要があります。
3. 複数パート用紙 (マイラー、厚い/重いミシン目紙など) によっては、パーク機能を使用したときに問題が生じることがあります。最初に用紙を試してください。パーク問題を最小限にするために、用紙を選択する際に、必要な要件について用紙の供給業者とよく相談してください。
4. IBM では、粘着ラベル付き連続用紙の使用はお勧めできません。
5. ラベル付き連続用紙のラベルが **Tear** または **Park** キーの使用時に離脱することを防ぐため、電源オン構成メニューで FRONT TEAR=NO または REAR TEAR=NO を設定します。この構成変更では、次のことが行われます。
 - **Tear** キーの切り取り機能を使用不能にします。
 - 前部プッシュおよび後部プッシュ用紙パスにある用紙に対する **Park** キーの機能を変更します。パークするために用紙を後退させることはできません。プリンターに入る前のミシン目で用紙を切り離します。**Park** を 2 度押すと、用紙は前方に移動して、プリンターから排出されます。
6. 裏面が黒色の用紙はこれらの用紙パスでは使用できません。この種の用紙は、後部プッシュ、手動給紙、および自動給紙 (ピン 1、2 および 3) の用紙パスでだけ使用可能です。

カット紙

7. 手動給紙用紙パスでは、A5、A4、A3、A2、レター、リーガル、エグゼクティブなどのサイズのカット紙を使用することができます。
8. 最適なパフォーマンスを得るために、印刷位置は用紙の四辺、穴、または折り目から 12.7 mm (0.5 インチ) までに制限する必要があります。
9. 長さとは、用紙の動きに平行な用紙の寸法を表します。



後部プッシュ用紙パスの推奨事項

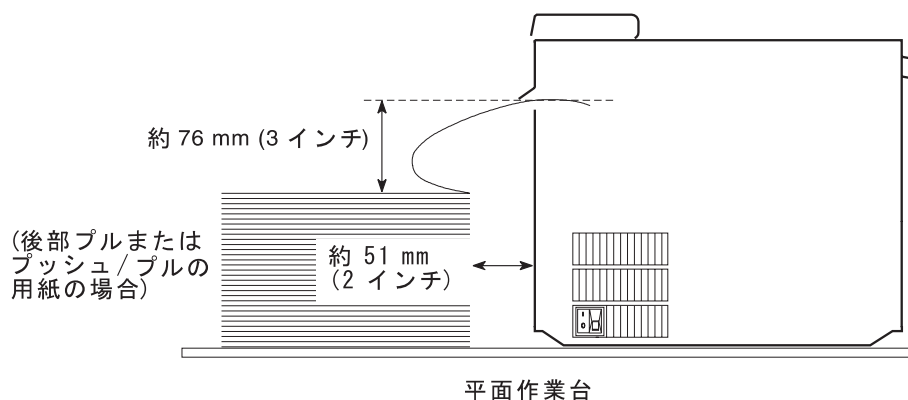
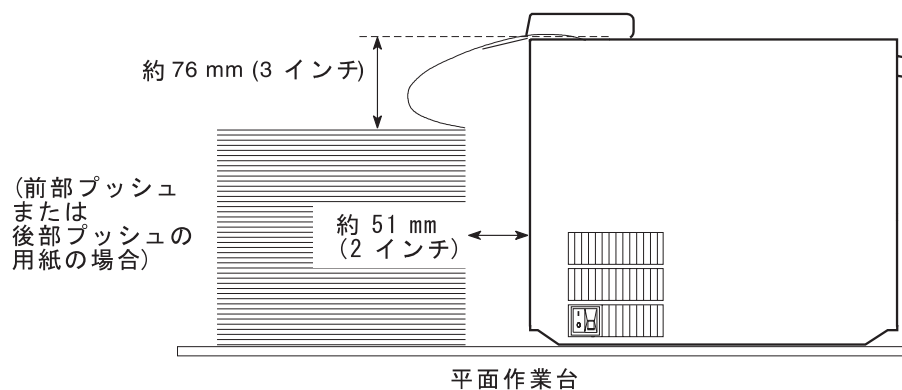
後部プッシュ用紙パスで使用される複数パーツ用紙の重なりは、マージン・ストリップに沿ってしっかり固定されている必要があります。重なりは、両方のマージン・ストリップに一直線のグルーまたは一並びのグルーのドットで接着することができます。グルーが使用されない場合、完全な crimp lock で重なりがしっかり固定されるはずですが、マージン・ストリップには、さらにミシン目を付けることができます。

後部プッシュ・パスで複数パーツ・ページを実行していて、表から裏までの重なりで見当合せが異なっているのを見つけたら、次の点を検査します。

- 事前印刷用紙の位置合わせを検査します。
- 用紙の '重なり合い' を検査します。つまり、裏の重なりが表の重なりに対してずれているか検査します。これは、重なりがしっかり固定されていない場合に起こることがあります。用紙でこれが発生している場合は、グルーでとめた用紙を使用することを考慮してください。

用紙スタッキングの推奨事項

IBM では、連続用紙をプリンターと同じ作業面にスタックする際、次のスタッキング高さを推奨しています。



用紙スタックの入力および出力の位置

どの用紙バスを使用しているかに応じて、プリンター用の入力と出力用紙をスタックする方法について、次のページの図を参照してください。

十分なスタッキング結果を得るには、プリンターのスタンドからフロアまでの距離は 736 ~ 762 mm (29 ~ 30 インチ)、棚とフロア間の距離は 381 mm (15 in.) にする必要があります。IBM は、4247 プリンター用にオプションのスタンドを用意しています。このプリンター・スタンドについて詳しくは、IBM 営業担当員にお問い合わせください。

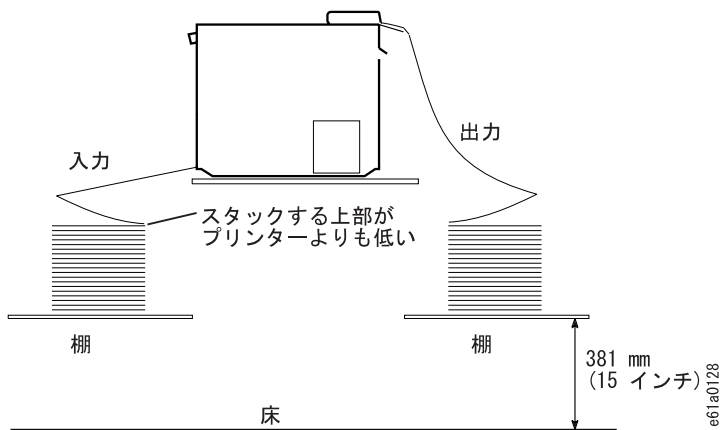
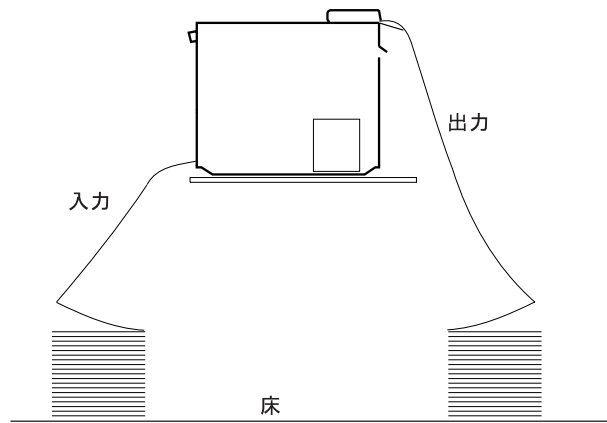
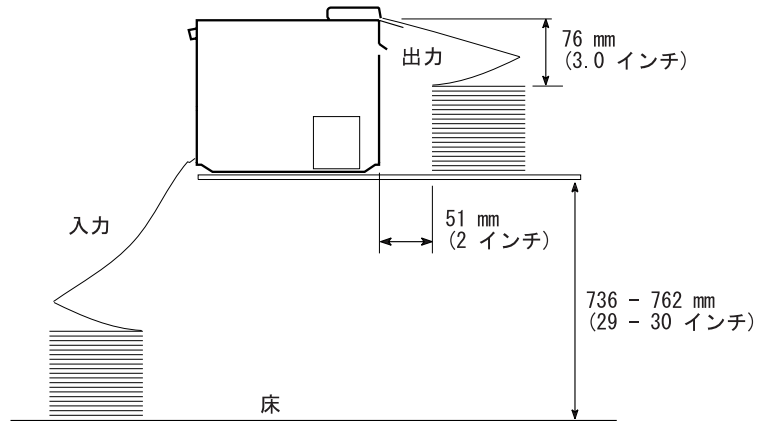
注:

1. 用紙のパークを正常に行うためには、必ず入力用紙スタックの位置がプリンターの位置より低くなければなりません。

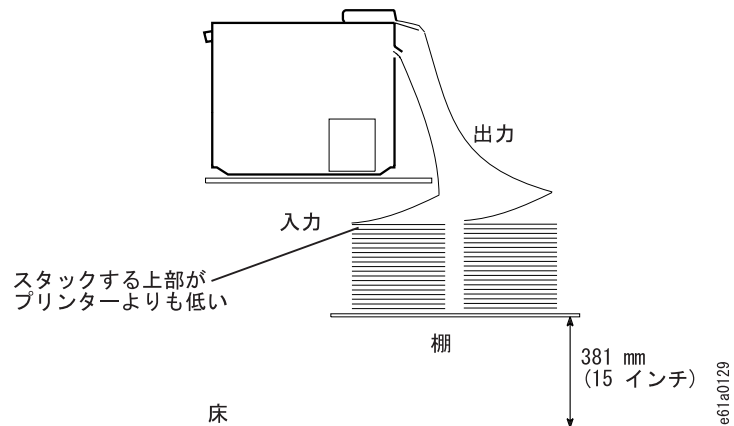
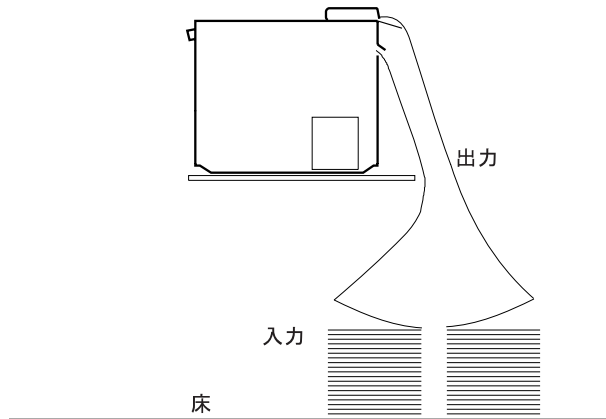
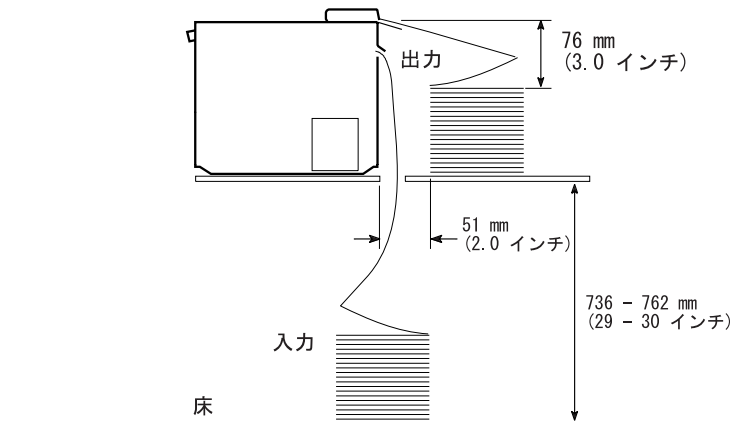
2. 最適なパフォーマンスを得るために、IBM では、前部プッシュ用紙パスを使用することを推奨しています。

注:

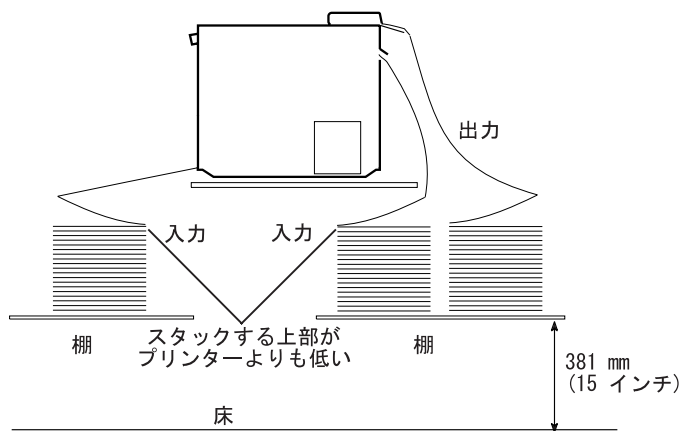
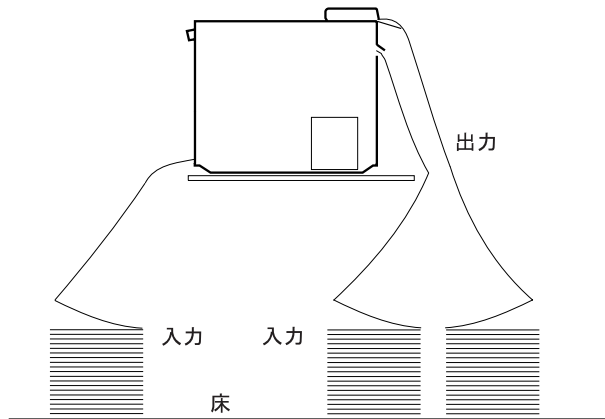
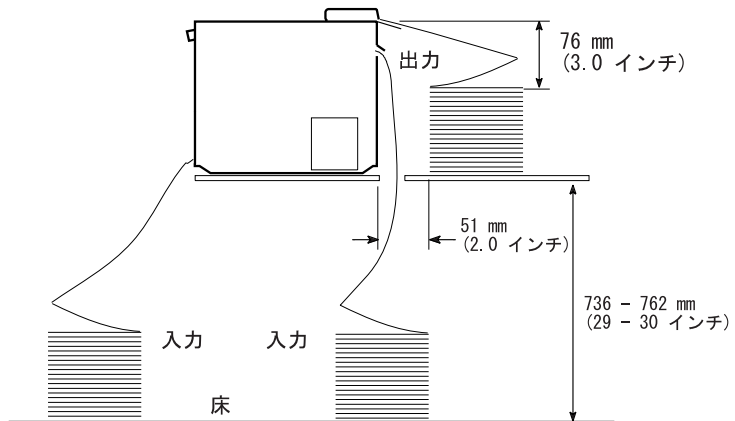
前部プッシュ用紙パス



後部プッシュ用紙パス

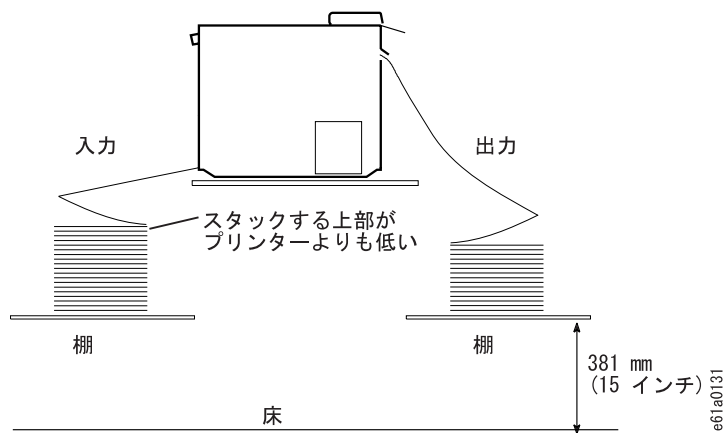
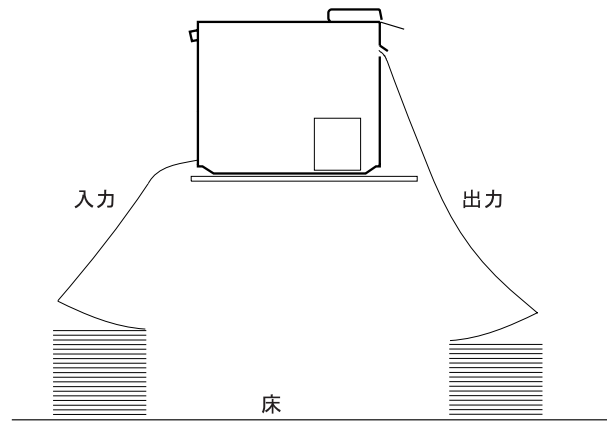
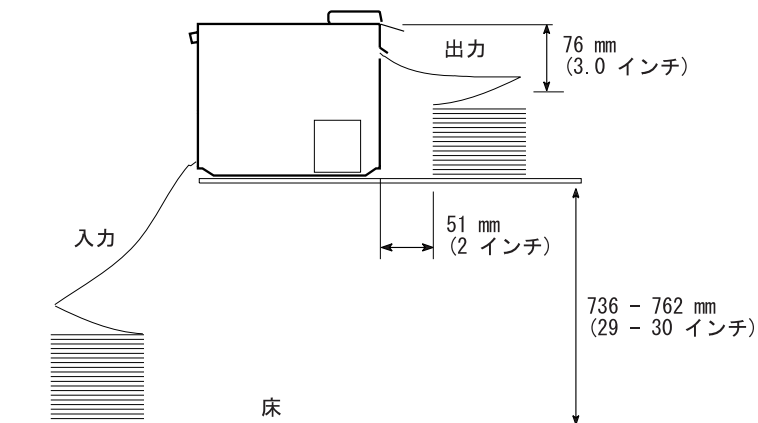


複式プッシュ用紙パス



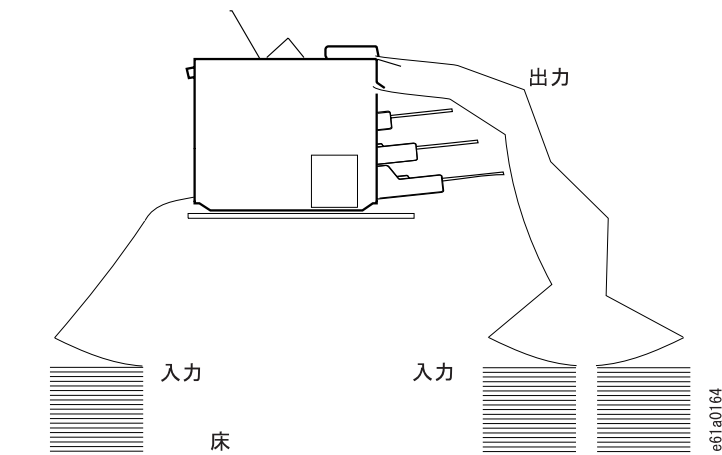
e61ra0130

後部プッシュまたはプッシュ/プル用紙パス



自動給紙機構用紙パス

注: この図は、複式プッシュ用紙パスを自動給紙機構と一緒に示しています。選択可能な用紙パスを ASF と一緒に使用する場合は、プリンターの背面にある入力と出力スタックが ASF ビンから十分に離して置かれており、それらがビンにからむことがないことを確認してください。



オプション機構

プリンターの使用可能なオプション機構を次に示します。

- 平衡型接続機構 (IPDS がある場合とない場合)
- 同軸接続機構 (IPDS がある場合とない場合)
- シリアル接続機構
- イーサネット 10/100BaseT 接続機構
- イーサネット 10BaseT ネットワーク・プリント・サーバー (外部)
- イーサネット 10Base2 ネットワーク・プリント・サーバー (外部)
- トークンリング・メディア・タイプ 3 ネットワーク・プリント・サーバー (外部)
- トークンリング・メディア・タイプ 1 ネットワーク・プリント・サーバー (外部)
- 追加の用紙トラクター
- 自動給紙機構 (ASF) (カバー、スタッカー、および 1 つの入力ビンを含む)
- 追加の自動給紙機構 (ASF) 入力ビン、(最大 2 つ)
自動給紙機構についての追加情報は、*IBM 4247 Printer Automatic Sheet Feeder Guide* を参照してください。
- プリンター・スタンド

これらのオプション機構について詳しくは、IBM 営業担当員にお問い合わせください。

保守

リボン・カートリッジの取り外し

重要: 4247 プリンター用に特に設計された IBM リボン (パーツ 1053685) を使用しない場合は、プリンターに損傷が生じる場合があります。リボンを発注するには、IBM 営業担当員にご用命ください。

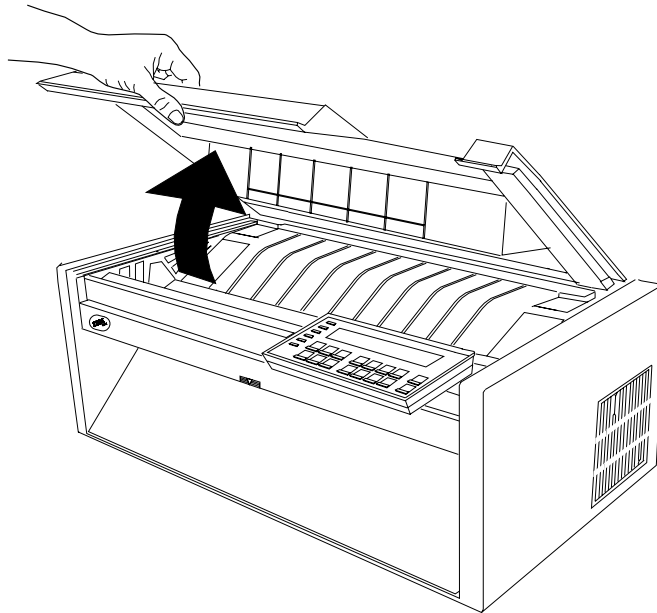


注意:

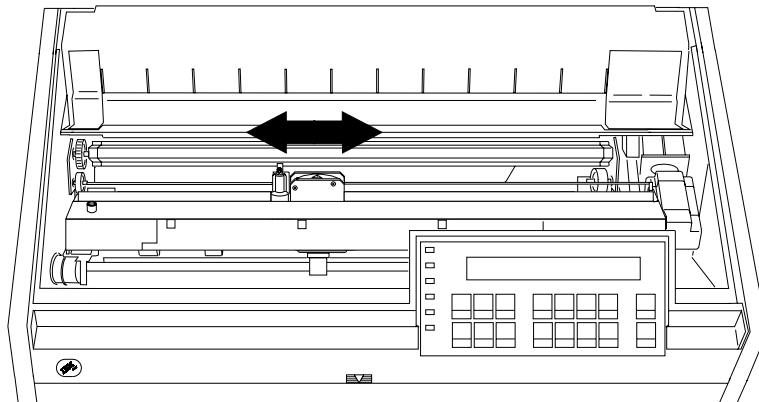
<2-51> 印刷ヘッドは、作動中に高温になることがあります。リボンを取り外したり、交換するときは、慎重に行ってください。

既存のリボン・カートリッジの取り外しは、次の手順で行います。

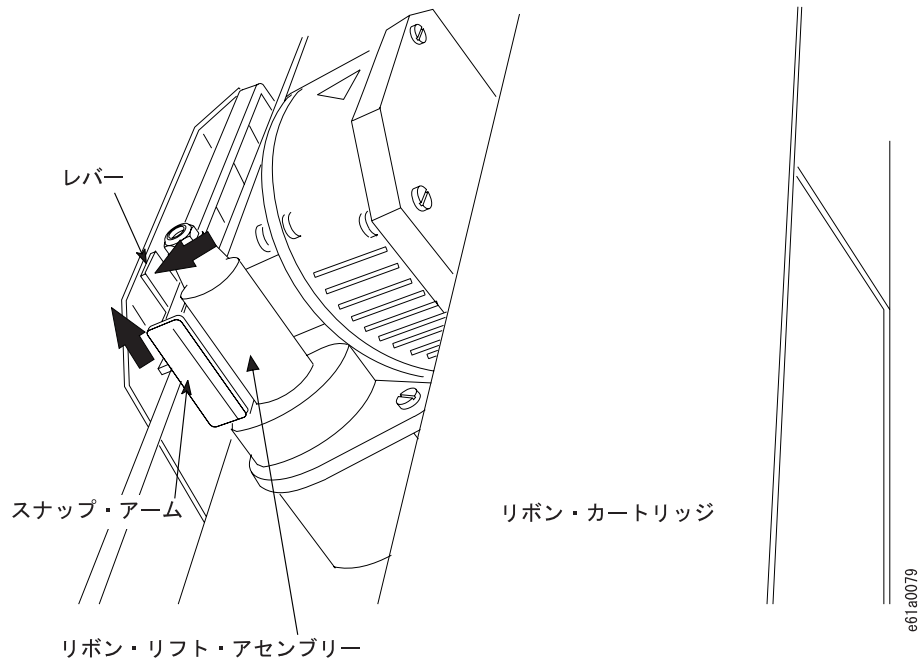
1. プリンターの電源がオフ (O) になっている場合は、ステップ 3 に進みます。
2. プリンターの電源がオン (I) になっており、**Format/Online** (同軸) または **Online** (平衡型) インディケータがオンになっている場合は、**Stop** を押して、プリンターを作動不能 にします。このインディケータはこれでオフになるはずですが。
3. カバーを持ち上げ、後ろに倒してフルオープン位置にします。



4. 印刷ヘッドをスライドさせて、プリンターの中央に移動します。



5. カートリッジ・サポートからカチッと音がして外れるまで、リボン・カートリッジを上の方に引き上げます。

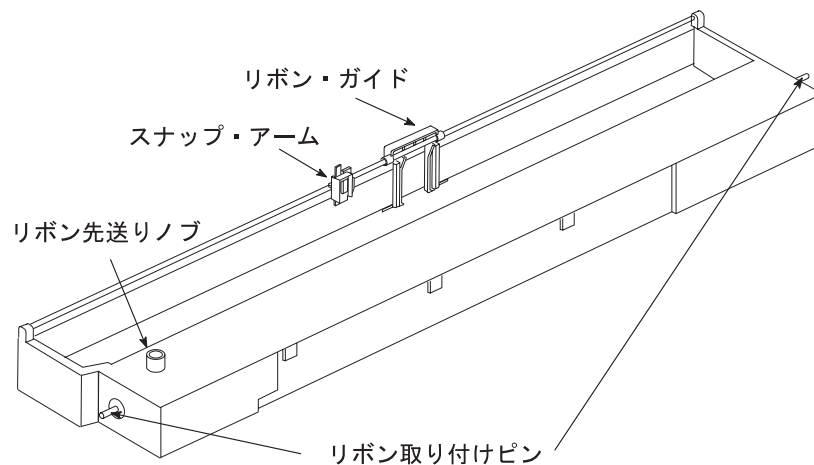


6. 白いプラスチック・レバーをリボン・リフト・アセンブリーの反対側へ押さえながら、プリンターからリボン・カートリッジを取り外します。

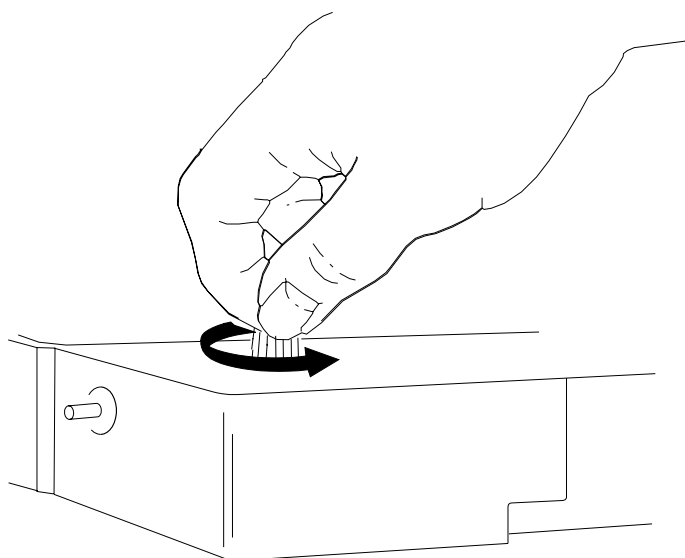
リボン・カートリッジの取り付け

新しいリボン・カートリッジの取り付けは、次の手順で行います。

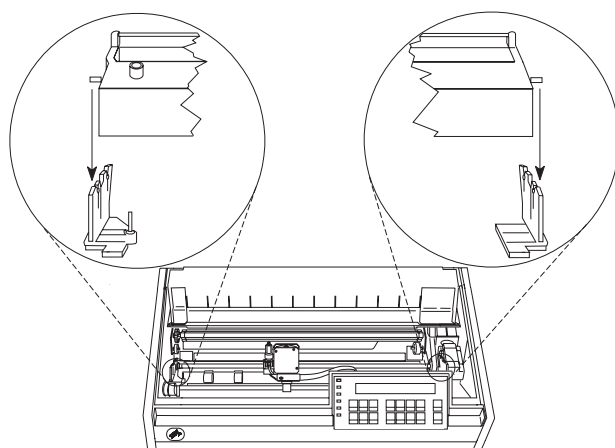
1. 新しいリボン・カートリッジを入手し、パッケージからそれを取り外します。リボン・ガイド、白いプラスチック・スナップ・アーム、リボン先送りノブ、およびリボン取り付けピンの位置を確認します。



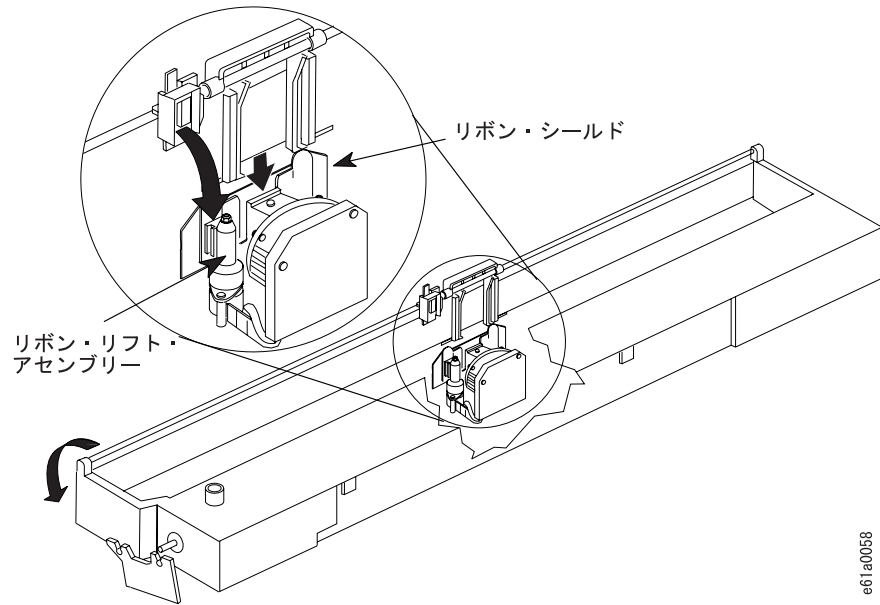
2. リボン・カートリッジを取り付ける前に、リボン先送りノブを矢印 (カートリッジ上にあります) の方向に回して、リボンがたるまないようにします。リボンが動かない場合は、購入元に連絡して、リボン・カートリッジを交換します。



3. リボン・カートリッジの左側と右側のピンを、カートリッジ・サポートのロットに合わせます。

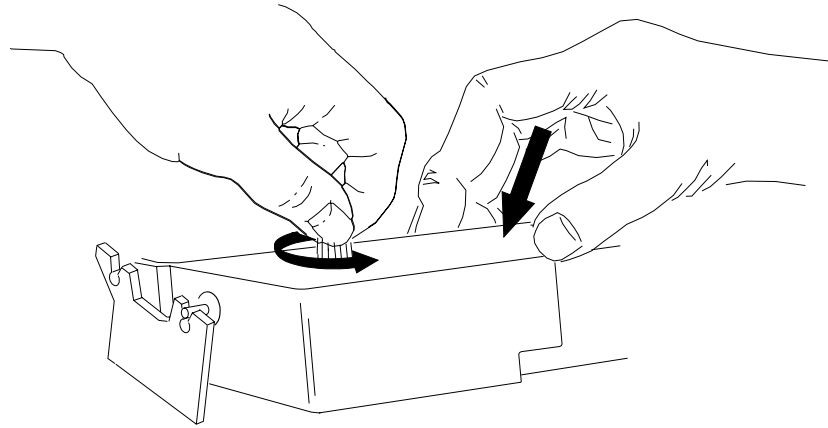


4. リボン・ガイドを、リボン・シールドと印刷ヘッドの間に差し込みます。白色のスナップ・アームを、小さなレバーを上側にして、リボン・リフト・アセンブリーの上に合わせます。白色のプラスチック・スナップ・アームを、リボン・リフト・アセンブリーに押し付けてカチッと音がするまで下に押しします。



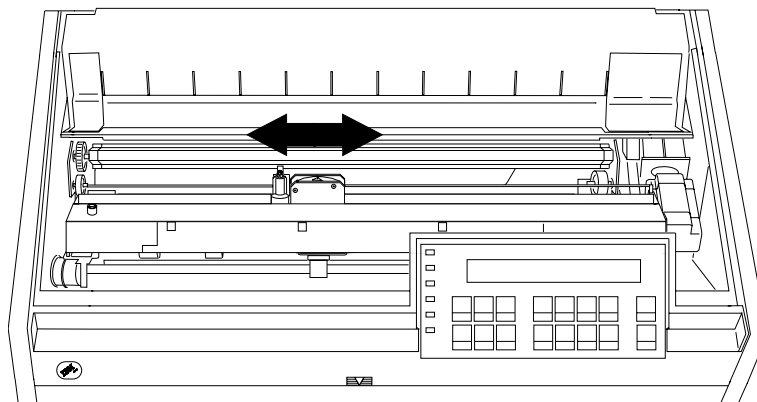
e61a0058

5. リボン先送りノブを回しながら、リボン・カートリッジの左側を所定の位置にカチッと音がするまで下に押します。その後で、右側をカチッと音がするまで下に押します。



6. もう一度、リボン先送りノブを矢印の方向に回して、リボンがたるまないようにします。

7. 印刷ヘッドを前後にスライドさせて、リボン・ガイドがリボンに沿って自由に動くことを確認します。



8. リボン・カートリッジを正しく取り付けを確認するため、次のことを検査します。
- 左右のリボン取り付けピンがカートリッジ・サポートにしっかり固定されている。
 - リボンがねじれたり、折れたりしていない。
 - リボンが印刷ヘッドに引っ掛かっている。
 - リボン先送りノブを回すと、リボンが矢印の方向に移動する。リボンが動かない場合は、リボン・カートリッジを交換します。

必要な場合は、用紙をセットまたは再セットします (ご使用の用紙パスに応じて 第17章 用紙パスのセットアップの該当する個所を参照してください)。

9. 電源がオン (I) になっていることを確認します。
10. **Start** を押して、プリンターを作動可能にします。これで、プリンターはジョブを印刷する準備が整いました。

プリンターのクリーニング

定期的なクリーニングすると、プリンターを最上の状態に保ち、常に最適なパフォーマンスを維持するのに役立ちます。

プリンターをクリーニングする前に、次のことを行います。

- プリンターの電源をオフ (O) にします。
- 電源コードを抜きます。
- 印刷ヘッドが冷却するまで少なくとも 15 分間待ってから、次の手順を開始してください。

プリンター内部のクリーニング

数か月ごとに、柔らかいブラシと電気掃除機を使用して、ほこり、リボンのけば、紙くずなどを除去します。リボンが電気掃除機に吸い込まれないように、リボン・カートリッジは取り外してください。印刷ヘッドの周囲とプリンターの内部の空洞のほこりを吸い取ります。

注: ホッチキスの針、紙クリップ、小さな金属片などをプリンターの中に落とさないでください。

カバーのクリーニング

プリンターの外側は、湿った布と中性せっけんを使ってクリーニングします。プリンターはどの部分も、スプレー式のクリーナーや化学洗剤は使用できません。通気孔の近くでは、液体やスプレーを使用しないでください。カバーに付着した落ちにくいインクは、市販のメカニック用のハンド・クリーナーでクリーニングしてください。